

要請番号 (JL02424B02)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
ラオス	H114 理学療法士	20~45歳のみ	個別	交替 2代目	2年	・2025/2・2025/3・ 2026/1

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

教育スポーツ省

2) 配属機関名 (日本語)

生涯スポーツ局 ラオスパラリンピック委員会

3) 任地 (首都ビエンチャン) JICA事務所の所在地 (首都ビエンチャン)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (徒歩 で 約 0.0 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

ラオスパラリンピック委員会は教育スポーツ省の部署内の一機関として位置づけられており、各競技連盟を取りまとめる役割を担うと共に、競技会(国内)の開催や国際大会への選手派遣に向けた支援、代表選手の練習環境整備の支援などを行っている。2016年から2021年までJICA草の根技術協力事業で、日本のNGO(アジアの障害者活動を支援する会:ADDP)が指導者の育成や有望な選手の発掘など、障害者スポーツの普及支援を行っていた。2024年7月現在理学療法士の短期隊員が活動中であり、主に車いすバスケ、ブラインドサッカーなどのパラスポーツ選手に対して活動を実施している。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

ラオスではADDPによる支援もあり障害者スポーツへの理解も徐々に浸透し、ASEAN大会でメダルを獲得するなど、競技や選手強化に関して環境整備が少しずつ進んでいる。他方で障害者スポーツ選手にとって重要な身体的なケアは、その重要性こそ認識されているものの、それに対する取り組みはされていない。代表レベルの選手強化のみならず障害者スポーツのすそ野を広げるためにも、この分野の知識・経験を有する人材の育成が課題となっている。そのため、JICA海外協力隊が要請され、2024年3月に短期隊員が派遣された。同隊員の活動を引き継ぎ、障害者スポーツにおける身体的ケアを実践できる人材の育成が求められ、継続要請に至った。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

配属先の同僚らと共に、以下の活動を行う。

- 選手に対する、身体的ケア(通常練習時、遠征時)を行う。
- 各傘下団体に所属するコーチや関係者へ向けて、身体的ケアの方法についての技術(理論、実技)を紹介し、指導者のスキル向上を支援する。
- 選手、コーチらに対してスポーツと栄養について助言をする。
- 定期的に練習に参加し、競技会や大会に向けた選手の体調管理に関して助言等を実施する。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

トレーニング機材(ダンベル、バランスボール、等)、ベッド

4) 配属先同僚及び活動対象者

配属先同僚:
部門長(60代:男性)

同僚(男性3名、女性3名:30-40歳代)

活動対象者:

競技団体関係者、選手(主にウェイトリフティング、水泳、車いすバスケ、ブラインドサッカー)
20~30名程度、年齢は18歳~30代

5) 活動使用言語

ラオ語

6) 生活使用言語

ラオ語

7) 選考指定言語

言語問わず(レベル:D)

【資格条件等】

[免許]：(理学療法士)

[学歴]：() 備考：

[性別]：() 備考：

[経験]：(実務経験)5年以上 備考：職員への指導も含むため

[参考情報]：

- ・スポーツ理学療法の知識があるとさらに良い

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：(熱帯モンスーン気候) 気温：(15~40℃位) [電気]：(安定)

[通信]：(インターネット可 電話可)

[水道]：(安定)

【特記事項】

活動対象者のほとんどはラオ語でのコミュニケーションとなる。